

令和4年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) **国補** 県単

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]			事業箇所	西八代郡市川三郷町畑熊	地区名	(主) 笛吹市川三郷線 (畑熊工区)	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画	現計画	変更計画	④特記事項 (関連事業概要等) ・なし					
	H26~H30	H26~R5	H26~R9						
総事業費	800 百万円	800 百万円	1,450 百万円						
(1) 事業の概要									
①事業目的及び効果									
<p>主要地方道笛吹市川三郷線は、笛吹市八代町から市川三郷町上野に至る幹線道路であるとともに、地域の生活道路として利用されている。当該区間は、幅員が狭小で交通の隘路となっているうえ山側の法面は急峻で落石等の危険箇所もあることから、早急な道路整備が必要である。</p> <p>□主要目標 ○災害に強い道路の確保 危険度 (落石等) : 「要対策」箇所 有 損傷度等 (落石等) : 通行止め実績 (過去3年) 4回 > 2回以上 ※ 緊急輸送道路の指定 : 指定なし 自動車交通量 : 693台/12h < 3,428台/12h (平日) 以上 ※</p> <p style="text-align: right;">※評価基準値</p> <p>□副次目標 ○市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上</p> <p>□副次効果 ○アクセス機能の維持</p>									
②事業概要									
道路改良 L=460m W=5.5 (7.0) m									
③全体計画									
		令和3年度まで	令和4年度 (評価実施年度)	令和5年度以降					
現計画	工事内容	道路設計、橋梁設計、地質調査、路線測量 用地測量、用地補償 道路改良工事	橋梁工事	道路改良工事					
	事業費	300 百万円	300 百万円	200 百万円					
変更計画	工事内容	道路設計、橋梁設計、地質調査、路線測量 用地測量、用地補償	用地補償 道路改良工事	道路改良工事 橋梁工事					
	事業費	134 百万円	190 百万円	1126 百万円					
※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。									
⑤これまでの評価状況 ・なし									
(2) 事業位置図等									
<p style="text-align: center;">道路改良 変更前 L=460m W=5.5(7.0)m 変更後 L=580m W=5.5(7.5)m</p>									

2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

地元からの早期完成の要望あり

②産業・経済情勢

なし

③国等の方針

なし

④上位計画・関連事業計画等

「山梨県総合計画」（令和元年12月）
 「山梨県強靱化計画」（令和2年3月改定）
 「山梨県社会資本整備重点計画-第四次-」（令和3年3月改定）
 「道路の整備に関するプログラム」（令和3年3月改定）

⑤自然環境条件等

なし

⑥その他

なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項目		着手時点		変更計画時点	
総事業費		800	百万円	1450	百万円
工期		H26~H30		H26~R9	
評価基準年		H26		R4	
経済 効率 性	費用	680	百万円	1284	百万円
	建設費	650	百万円	1231	百万円
	維持管理費	30	百万円	53	百万円
	その他()		百万円		百万円
	便益	1005	百万円	1480	百万円
	走行時間短縮	720	百万円	1175	百万円
	走行費用減少	220	百万円	202	百万円
	交通事故減少	65	百万円	49	百万円
	その他※		百万円	54	百万円
	B/C		1.5		1.2

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益

（3）これまでの計画変更等の概要

（H28年度変更内容）
 地元調整による道路線形決定に不測の日数を要したことにより計画期間を5年延長し、令和5年度までとした。

評価シート(2)

(4) 事業進捗状況及び見込み

①進捗率
別表のとおり。
R4年度進捗率(現計画) 93.8%→(実績) 40.5%→(変更計画) 22.3%

②進捗率実績が計画と相違している理由
新設道路と立体交差する発電用水路において、管理者との協議の結果、道路線形の変更が必要となり、山側の切土量及び法面対策工等の増工に伴い事業費が増加した。また、用地取得に不測の日数を要している。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
土工・法面工における費用	470百万円 増	新設道路と立体交差する発電用水路において、管理者との協議の結果、維持管理等の課題を解消するため、道路線形の変更が必要となり、切土量の増大及び法面工が増工となったため。
護岸工の増工	120百万円 増	景勝地である当該河川内の改変を避けるよう地元要望があり、現況に合わせた河川解析を実施した結果、護岸工が増工となった。
橋梁工	60百万円 増	道路幅員の見直しに伴い工事費が増大した。
合計	650百万円 増	

④事業期間の変更理由及び進捗予定
一部の地権者から協力が得られず用地取得に不測の日数を要しているが、引き続き事業進捗に努め、令和9年度の完成を予定している。

⑤今後の事業執行における留意点
用地の早期取得を目指すとともに、事業の整備効果を発現させるため、工事の早期着工を目指す。

(5) 環境負荷等への配慮

なし

(6) コスト縮減の可能性

なし

(7) 代替案立案の可能性

なし

(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他()

(理由)
今後も引き続き、用地取得に努め、継続的に事業を実施し、整備効果を早期に発現させるため、変更計画に基づき令和9年度の完成を予定している。

〇別表-進捗率(事業費ベース)

算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位：%

	年度	*H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	*R4	R5	R6	R7	R8	R9	-	-	-
現	計画	2.5	7.5	12.5	25	37.5	56.3	75	81.3	87.5	93.8	100							
	実績	0	0	0	0	0.4	7.6	13.4	15.3	16.8	40.5								
	変更計画										22.3	39.7	53.0	74.6	92.9	100			

*事業着手年度又は評価年度
*R4年度の実績は見込み

3.添付資料シート(1)

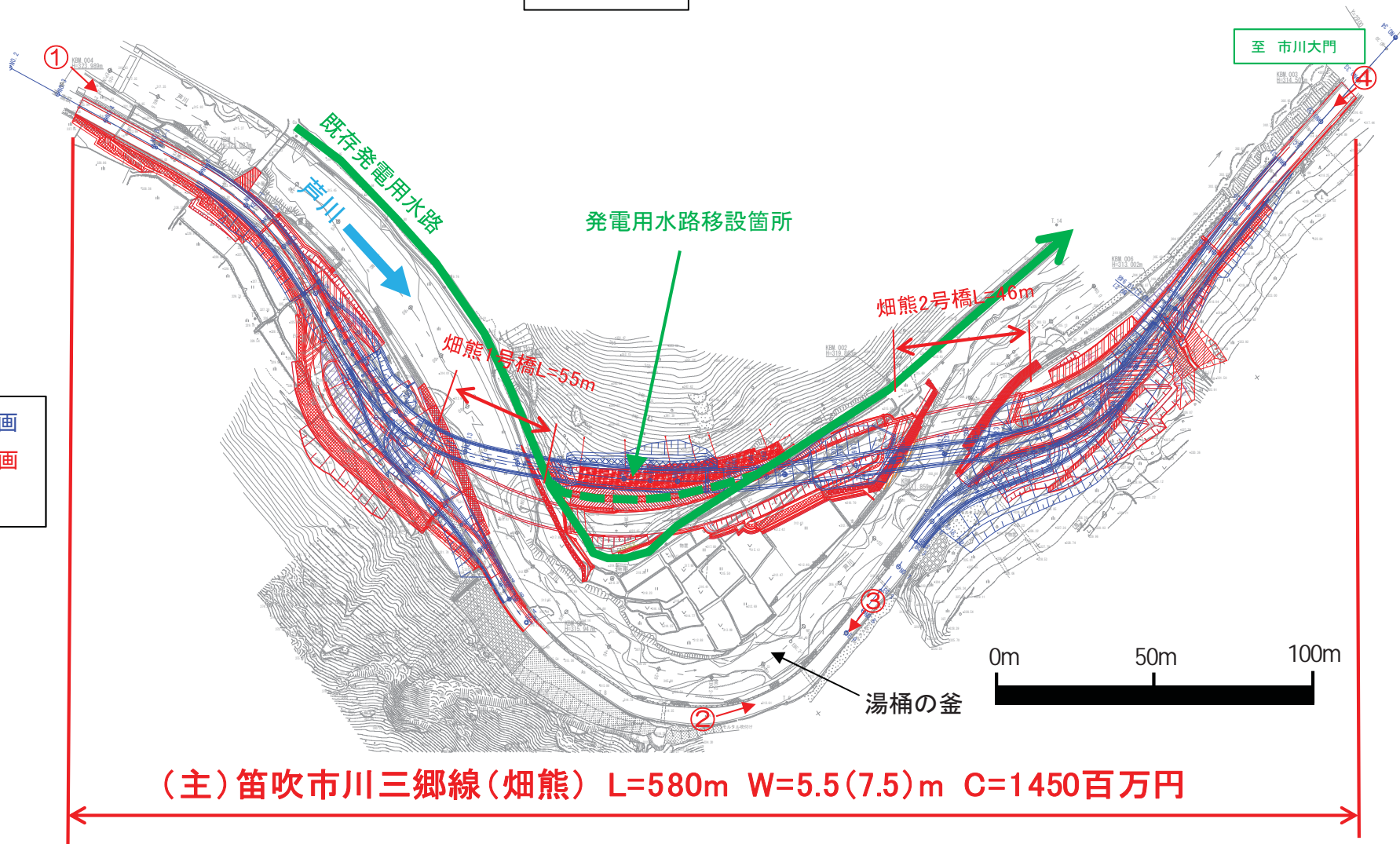
平面図

至 国道358号

至 市川大門



青:当初計画
赤:変更計画
茶:現道



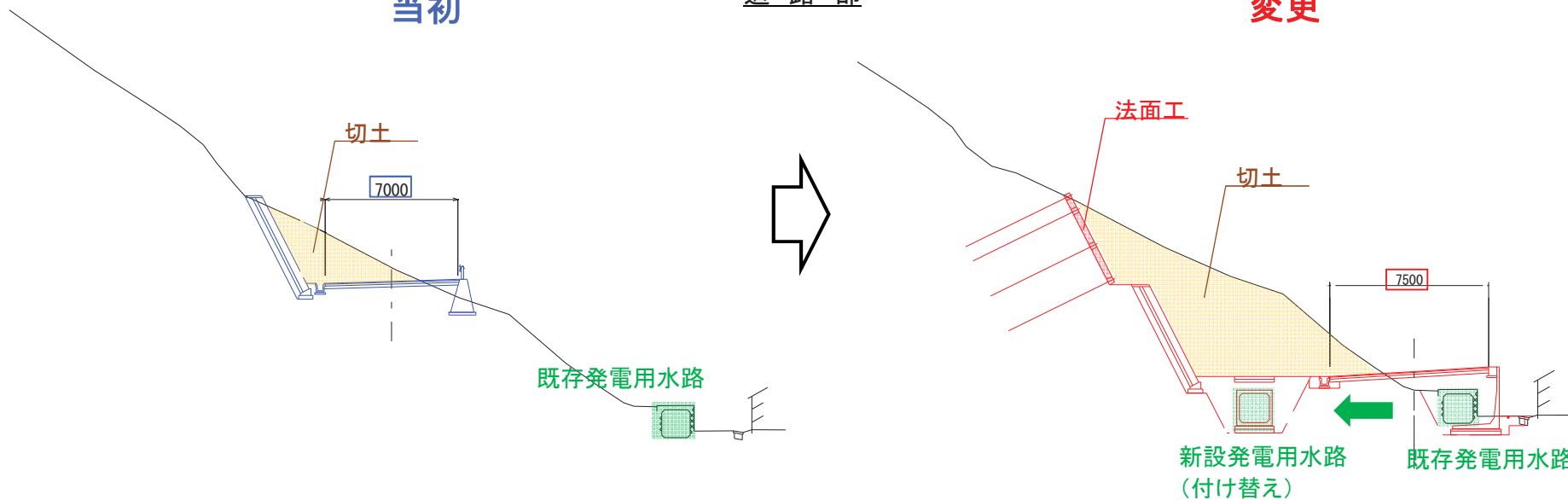
3. 添付資料シート (1)

標準横断面図

道路部

当初

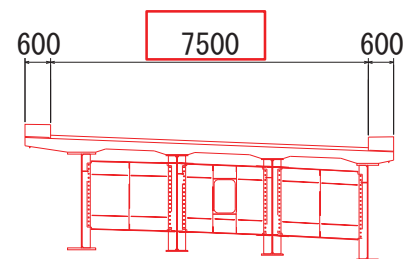
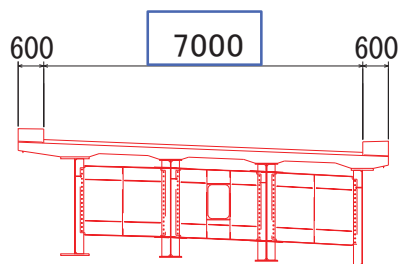
変更



- ・発電用水路の管理者との協議の結果、水路の付け替えが必要となった
- ・道路線形の変更に伴い、切土量の増大及び法面工が増工となった
- ・道路幅員の見直し

橋梁部

畑熊2号橋(L=46m)



・道路幅員の見直し

3. 添付資料シート (2)

① 現道 改良済み箇所



③ 現道 狭小幅員箇所



② 現道 狭小幅員箇所



④ 現道 改良済み箇所



3. 添付資料シート (3)



4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H26	0		0.0%
H27	0	用地補償	0.0%
H28	0	用地補償	0.0%
H29	3,000	道路予備設計、用地補償	0.2%
H30	58,000	道路予備設計、橋梁詳細設計、地質調査、用地補償	4.2%
R1	46,000	道路詳細設計、橋梁詳細設計、路線測量、地質調査、用地補償	7.4%
R2	15,000	道路詳細設計、用地補償	8.4%
R3	12,000	用地補償	9.2%
R4	190,000	用地補償、道路改良工事	22.3%
R5	252,000	道路改良工事、橋梁下部工事（1号橋A1、2号橋A1）補償工事（東電発電用水路）	39.7%
R6	193,000	道路改良工事、橋梁下部工事（1号橋A1A2、2号橋A1）、橋梁上部工事（1号橋）	53.0%
R7	313,000	道路改良工事、橋梁上部工事（1号橋）、補償工事（東電発電用水路）	74.6%
R8	265,000	道路改良工事、橋梁下部工事（2号橋A2）橋梁上部工事（1号橋、2号橋）	92.9%
R9	103,000	道路改良工事、橋梁上部工事（2号橋）	100.0%
合計	1,450,000		